

川西市中心市街地活性化基本計画

～ ハート&アートな街 かわにしのせぐち ～

<概要版>



兵庫県川西市

平成 22 年 11 月

(平成 22 年 11 月 30 日認定)

川西市中心市街地活性化基本計画の概略

◆川西市の概要

- 大都市に近く、豊かな自然に囲まれた住宅都市
- 多くの市街地再開発事業を実施

- ▲少子・高齢化の進行
- ▲社会経済変化に伴う、中心市街地での活力の低下
- ▲近隣市町に大型商業施設が立地し、来街者が減少
- ▲商業施設の老朽化

◆中心市街地の概況

- 鉄道やバスなど、公共交通機関の結節点
- 市役所、文化施設などの公共・公益施設が集積
- 商業施設が集積

- ▲駅東地区第2工区の市街地再開発事業の遅れ
- ▲大規模な土地利用転換や都市基盤整備の遅れ
- ▲交通結節点であるが、通過客が多い

◆地域の現状に関する統計的なデータの把握・分析

- 人口・世帯数は微増傾向
- 鉄道3駅の乗降客数は約14万人

- ▲昼間人口は夜間人口の約8割
- ▲人口の流入と流出は約3万人の流出超過
- ▲小売業の商店数と年間商品販売額は減少傾向
- ▲駅間から周辺への回遊が少ない

◆地域住民のニーズ等の把握・分析

- 徒歩・自転車での来街者が多い
- 日常的に中心市街地を利用
- ほぼ毎日食料品を中心に1時間程度滞留する
- 大学生・高校生も多くみられる

- ▲不法駐輪による通行の妨げ
- ▲高校生・大学生を取り込めていない
- ▲映画館や公園・緑地などの施設が不足

◆これまでの中心市街地活性化の取り組み

- 平成12年度に旧基本計画を策定
- 平成15年7月にTMO認定
- 区域面積は約300haとし、63事業を設定

- ▲まちづくり活動の連携不足
- ▲資金不足などによる、事業の継続性に乏しい
- ▲滞留する空間・施設が不足している
- ▲後継者不足などによる閉店に伴う商業衰退

◆川西市における上位計画

- 第4次総合計画において、中心市街地を都心核に設定
- 同総合計画により、これまで以上に市民と行政による協働とパートナーシップのまちづくり推進

◆中心市街地の課題の分析

中心市街地で買い物をする人や商売をする人にとって、魅力的で活気のある商業環境をつくること

- ◎川西能勢口駅周辺は、市街地再開発事業などにより、様々な機能をもつ市街地として整備されてきたが、川西能勢口駅東地区第2工区については事業化が遅れ、駅東地区周辺の商業活力が低下している。
- ◎中央北地区は、中心市街地における大規模な遊休地であり、新しい地域交流拠点づくりによる土地利用の転換が求められている。
- ◎再開発ビル内における空き店舗の顕在化により、年間商品販売額（小売業）が低迷し、商業の活性化が進んでいないため、早急に再開発ビルをリニューアルするなど、魅力的な施設にする必要がある。
- ◎比較規模が小さな駐車場が市街地に点在していることや、駐車場の認知度の低さなどにより、効率的な運用が図られていないため、駐車場ナビゲーションシステムの構築を推進する必要がある。
- ◎一時子ども預かり所の開設やバリアフリー化など、あらゆる世代に対応した買い物環境の整備が求められる。

中心市街地に訪れる人や暮らす人にとって、楽しみながら回遊したくなる交流環境をつくること

- ◎中心市街地の歴史的・文化的資源や景観資源、社会資本、産業資源をうまく活用しながら、商業活性化などのための様々なイベントを行い、魅力的で活気のあるまちにすることが必要である。
- ◎川西能勢口駅東地区第2工区の市街地再開発事業や再開発ビルのコミュニティプラザの設置などの施設整備による新しいにぎわい空間や、にぎわい創出イベント会場、その他の活性化のための様々なイベント会場を結び、人が集い回遊する仕掛けが必要である。
- ◎川西能勢口駅と川西池田駅の乗降客数は約14万人であるが、街なかに立ち寄らないため、魅力的な商業空間の整備や新たに個性的なテナントを誘致するなど、「ついで買い」を誘発させる。
- ◎コミュニティセンターなど市民への情報配信や、商業・サービス機能の更新や充実が求められている。
- ◎商店会や地域住民など地域の関係者が協働して活性化のための取り組みを推進し、来街者がまちを回遊する仕掛けが必要である。

中心市街地の居住者や利用する市民にとって、安全で便利なサービス環境をつくること

- ◎共稼ぎ家庭に対する子育て支援やファミリーサポートの充実など、誰もが働きやすい環境の整備が必要である。
- ◎中心市街地は、市役所や総合体育館、市民温水プールなどの公共・公益施設が広く分布しているが、これらの施設を結ぶネットワークが構築されていないことから、歩行者動線の整備やシャトルバス運行の検討を進める必要がある。
- ◎みつなかホールや文化会館などの芸術・文化施設、街なかギャラリーなどが立地しており、様々な文化や芸術に触れやすい環境にあるが認知度が少ないため、案内マップなどの情報発信を促進する。
- ◎中央北地区の新しいまちづくりにより、中心市街地の総合発展と中央北地区の生活環境改善のための取り組みを進める必要がある。

区域面積：約 80 ヘクタール

◆目標を実現する 37 事業

基本方針と目標	番号	事業名	基本方針1	基本方針2	基本方針3	
<p>基本方針1 買い物を する人や商売 をする人にと って、魅力的 で活気のある まちをめざす</p> <p>基本方針2 訪れる人や 暮らす人にと って、楽しみ ながら回遊し たくなるまち をめざす</p> <p>基本方針3 居住者や利 用する市民に とって、安全 で便利なまち をめざす</p>	<p>目標1 魅力的で活気のある 『かわにしのせぐち』 の創造</p> <p>数値目標 年間商品販売額 (小売業) 約 536 億円 (平成 21 年度) ↓ 約 540 億円 (平成 26 年度) 増加率 100.7%</p>					
	<p>目標2 楽しみながら回遊し たくなる 『かわにしのせぐち』 の創造</p> <p>数値目標 休日の歩行者通行量 56,368 人 (平成 21 年度) ↓ 約 62,000 人 (平成 26 年度) 増加率 110.0%</p> <p>参考指標 来街者の平均滞留時間 約 2.2 時間 (平成 21 年度) ↓ 約 2.8 時間 (平成 26 年度) 増加率 127.3%</p>					
	市街地の整備改善に関する事業	01	川西能勢口駅東地区第2工区優良建築物等整備事業	●	●	
		02	中央北地区特定土地区画整理事業			●
		03	都市計画道路火打滝山線東側歩道拡幅事業			●
		04	都市計画道路せせらぎ遊歩道新設事業			●
		05	回遊動線形成促進事業		●	
		06	川西能勢口駅東整備構想策定事業		●	
		07	みつなかホール周辺(仮称)花の道及び駐車場整備事業		●	
		08	みつなかホール・ドラゴンランドへの動線整備計画の検討		●	
	都市福祉施設の整備に関する事業	09	情報配信システム構築事業	●		
		10	ファミリーサポートセンター事業	●	●	
		11	一時子ども預かり所開設事業	●	●	
		12	地域子育て支援事業	●	●	
		13	市立中央図書館子ども読書サポーター事業	●	●	
		14	コミュニティ・スペースにぎわい空間整備事業	●	●	
		15	交通バリアフリー重点整備地区基本構想に基づく道路特定事業		●	
	街なか居住に関する事業	01	川西能勢口駅東地区第2工区優良建築物等整備事業(再掲)	●	●	
		02	中央北地区特定土地区画整理事業(再掲)			●
		05	回遊動線形成促進事業(再掲)		●	
		16	バルティ川西リニューアル支援事業		●	
	商業の活性化に関する事業	07	みつなかホール周辺(仮称)花の道及び駐車場整備事業(再掲)		●	
		09	情報配信システム構築事業(再掲)	●		
		17	川西まつり		●	
		18	猪名川花火大会		●	
		19	源氏まつりミニイベント		●	
		20	みつなかオペラ		●	
		21	アステ川西地下1階リニューアル事業	●		
		22	アステ川西大規模改修事業	●		
		23	バルティ川西A&Hデザイン構築事業		●	
		24	アステ川西バイク・自転車駐輪対策事業	●		
		25	かわにしにぎわい創出イベント事業		●	
		26	かわにし朝市		●	
		27	光のオブジェ展		●	
		28	JAM・HOP・CARNIVAL		●	
		29	アステかわにし繁昌亭		●	
	30	夢宿フォトコンテスト		●		
	31	花と緑のアステ川西プロジェクト		●		
	32	イチジクの即売会	●			
	33	桃の即売会	●			
	34	かわにし寄席		●		
	35	金太郎プロジェクトの実施			●	
交通に関する事業	08	みつなかホール・ドラゴンランドへの動線整備計画の検討(再掲)		●		
	36	駐車場ナビゲーションシステム構築事業(その2)		●		
	37	川西能勢口駅周辺と中央北地区を回遊するシャトルバス運行の検討			●	
合計		37 事業(合計のうち、基本方針1と基本方針2との重複は6事業)	12	26	5	

4から8までに掲げる事業及び措置の実施箇所

